

令和7年度事業計画

「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」の魅力を国内外に発信し、誘客による人の交流と経済循環の促進を図ることにより、地域に対する愛着と誇りを醸成し、活気溢れる地域を形成する。

1 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会の運営

推進母体である標記協議会を運営する。

2 地域の「銀の馬車道・鉱石の道」愛の醸成

(1) 高校生による日本遺産魅力発見ワークショップ

高校生自身が「銀の馬車道・鉱石の道」を学ぶとともに、高校生ならではのアイデアを観光施策や地域課題解決に活かすため、沿線地域の高校生による地域魅力づくりワークショップを開催する。

(2) オリジナルキャラクター制作事業【拡充】

地域内外を問わず「銀の馬車道・鉱石の道」をより多くの方に認知してもらい、身近に感じてもらうため、令和6年度に制作したキャラクターのプロフィールの募集やオリジナルグッズ作成等を行う。

3 地域外からの誘客増加を目指した取組の推進

(1) 地域の魅力を自転車で巡る【拡充】

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」沿線に点在する地域の魅力あるスポットへの来訪を促すため、「ひょうごサイクリングモデルルート」である「銀の馬車道周遊ルート」と「鉱石の道周遊ルート」を中心に沿線地域を個人のペースで走行してもらい、走行したルートに応じて副賞等を授与する。

(2) メディアを活用した自転車の旅 PR【新規】

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」沿線のグルメや歴史遺産といった様々な観光資源を自転車や徒歩等で巡り、その様子を SNS、WEB サイト、ラジオ等のメディアを活用して発信することにより、沿線の自転車旅を PR する。

(3) ガイド人材発掘事業【新規】

専用 HP の中に「銀の馬車道・鉱石の道」沿線のガイドの紹介ページを作成するとともに、来訪者にリアルな体験を提供できるガイドとなる人材を発掘するため、日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」の各地域において、住民を対象とした各種講座、現地研修、参加者によるロールプレイング等を開催する。

4 広報 PR

(1) 情報発信事業

地域内外へ「銀の馬車道・鉾石の道」を PR するため、HP や SNS での情報発信を行うとともに、各地で行われる文化庁等が主催するイベントへの出展を行い、都市部での PR 活動も実施する。

5 その他

(1) 基本戦略の見直し

日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉾石の道」基本戦略について、計画期間が令和 8 年度で終了するため、検討委員会を設置し令和 9 年度以降の戦略策定の作業を行う。

令和7年度事業計画

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会において策定した日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」基本戦略（令和3年度～令和8年度）に基づき事業を展開することにより、沿線エリアに経済効果を生みだす。

I 銀の馬車道ネットワーク協議会の運営（500 千円）

「銀の馬車道」プロジェクトを推進するため、銀の馬車道ネットワーク協議会を、姫路市、福崎町、市川町、神河町、朝来市とともに運営する。

II 「銀の馬車道」プロジェクトの展開

1 ヘリテージとしてのレベルアップ

言語だけに頼らず、視覚的に理解しやすいアート作品や看板等を設置し、国内外の多くの人々に銀の馬車道を理解してもらう。

（1）「銀の馬車道」アート看板等制作支援事業（2,000 千円）

遊び心や、インスタ映えを意識したアート作品を銀の馬車道沿線の空き地等に設置し、「銀の馬車道」の見える化を進める。

（2）サイン計画に基づく設置看板の改修（500 千円）

平成30年度に日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会が策定したサイン計画に基づき、銀の馬車道区間設置看板の改修を行う。

2 地域の「銀の馬車道愛」の醸成

（1）日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」川柳コンテスト事業（285 千円）

「銀の馬車道・鉱石の道」沿線地域の魅力を内外に発信するため、魅力を伝える作品を募集する。

3 地域外からの誘客増加をめざした取組の推進

（1）「銀の馬車道」ブランド化の推進（3,700 千円）

地域のイメージ、魅力等を高めるため、銀馬車かぼちゃをはじめとした地域の資源を活用し、これを広くPRする。

（ア）「銀馬車かぼちゃ」を活用したプロモーション

「銀馬車かぼちゃ」の地元の子どもたちによる植え付け体験や収穫祭等、各種イベントへの支援を行うほか、「銀馬車かぼちゃ」をより多くの観光客に楽しんでもらえるようイベント等を実施する。

（イ）銀の馬車道商品開発支援事業

インスタグラム等のSNSを活用し、「銀の馬車道」沿線の産品や「銀の馬車道」のイメージを活用した商品の販売を支援する。

(2) 銀の馬車道受入れ体制整備強化事業 (1,500 千円)

国内外の人々をおもてなしするために、受入れ体制の強化などを支援する。

(3) 「銀の馬車道」花つなぎ事業 (600 千円)

銀の馬車道沿線の花壇整備等を継続して支援する。

(4) プロモーションの実施

ア マップを活用した銀の馬車道サイクリング魅力 PR【新規】 (2,500 千円)

既存の中播磨ウォーキング&サイクリングマップに、新たに日本遺産推進協議会で実施する内容を加えることにより、自転車を活用した観光を広く PR する。

イ フランスとの相互交流 (200 千円)

銀の馬車道とゆかりの深いフランスをターゲットに銀の馬車道のストーリーの魅力を発信する。

ウ 情報発信事業 (5,000 千円)

公式ホームページ、Facebook 等の運営、イベント出展等

Ⅲ 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会負担金 (1,000 千円)

鉱石の道推進協議会と連携して、日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会へ負担金を支出し、日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」の情報発信等を行う。

- ・ 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会の運営
- ・ 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」公式HP等の運営

令和7年度 事業計画

新たなツーリズムの創出のため、地域の活性化を推進する「鉾石の道推進協議会」は、平成19年度の設立以来、着実に歩みを進めてきた。

令和7年度も、「鉾石の道」としてさらなる地域活性化を図るため、各エリアの地域団体等による様々な取組への支援や幅広いPR等により、鉾石の“道”の活用と各エリアの地域の魅力をより広く発信していく。

1 鉾石の道推進事業

- (1) 郷土学習活動支援事業（補助金） <予算額 400 千円>
学校、PTA、NPO、任意団体等が行う鉾石の道をテーマとした郷土学習に対する費用（見学バス借上代、講師謝金等）を支援する。
- (2) 地域イベント支援事業（補助金） <予算額 1,000 千円>
養父市・朝来市の地域団体等が実施する鉾石の道関連イベントへの支援を行い、「鉾石の道」のPRと地域の活性化を推進する。
- (3) 鉾石の道地域の稼ぐ仕組み創出事業（補助金） <予算額 1,500 千円>
※養父市(500 千円)・朝来市(250 千円)・県民局特別負担金(750 千円)
鉾石の道エリアにて、地域団体・事業者等が新たな視点のイベントプロデュースや、食・宿泊を提供するための環境整備等に要する費用を支援する。
- (4) 但馬鉾山遺構観光タクシー事業化モデル支援事業（補助金） <予算額 50 千円>
観光タクシー（定額料金）における『日本遺産「鉾石の道」コース』の利用向上を目指し、定額料金の一部を支援する。
- (5) 鉾石の道PR事業 <予算額 1,350 千円>
様々な手法により「鉾石の道」の知名度を向上させるとともに、鉾石の道エリアの魅力を発信する。
・ホームページの運営
・ガイドブック、リーフレット増刷
・プロモーション（広告紙面の購入、グッズ作成、SNS 情報発信、ショート動画の作成 等）
- (6) 「鉾石の道」観光ツアー造成モデル事業（補助金） <予算額 300 千円>
新たな来訪者を獲得するため、観光事業者等が「鉾石の道」を周遊する観光ツアー造成に対して、経費の一部を支援する。

(7) 鉾石の道将来勉強会事業

＜予算額 100 千円＞

「鉾石の道」の歴史について学び、新たな掘り起こしを行うとともに、それらを整理し後生に引き継いでいくことによって、将来にわり地元住民が「鉾石の道」に誇りを持ち、持続可能な地域づくりを推進することを目的として、「鉾石の道」関連資料の収集や地元の方による座談会等を行う。

(8) 鉾石の道フォトツーリングラリー【拡充】

＜予算額 600 千円＞

「鉾石の道」や「銀の馬車道」のスポット等をバイクで巡り、参加者自らに写真を SNS 等に投稿してもらいながら予め定めたゴールを目指す「フォトツーリングラリー」を開催し、情報発信と経済波及を図る。

(9) 「鉾石の道」商品開発事業（補助金）

＜予算額 300 千円＞

「鉾石の道」関連商品の販売を促し、「鉾石の道」エリアの地域活性化を図るため、「鉾石の道」のイメージを活用したグッズや地元特産品等の開発、販路調査等を支援する。

2 銀の馬車道・鉾石の道連携事業

(1) 銀の馬車道・鉾石の道連携啓発事業（負担金）

＜予算額 500 千円＞

日本遺産「銀の馬車道・鉾石の道」推進協議会へ負担金を支出し、鉾石の道・銀の馬車道の連携した啓発資材の作成、広報 PR 等を実施する。